

科目区分	専門教育科目	科目名	保育者論		科目コード	21Y500	担当者	船勢 肇			
対象学生	幼児教育学科 2年生	学期区分	後期		単位数	2	担当形態	単独			
		授業形態	講義								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
教育の基礎的理解に関する科目		教職の意義及び教員の役割・職務内容（チーム学校運営への対応を含む。）				免許・資格要件	幼稚園教諭必修、保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
高度化・多様化する現代の教職を踏まえ、教師の役割・職務内容への理解を深め、教師に求められる資質・能力とはどのようなものかを考察する。						1. 「 <b>良心</b> 」 誠実な人柄と 人間力	2. 「 <b>創造</b> 」 高度な知性と 創造力	3. 「 <b>実践</b> 」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	幼児教育とその教職の社会的意義を理解する。					◎	○	○	◎	○	
2.	今日の教師に求められる役割や資質・能力について理解する。					◎	○	○	◎	○	
3.	教師に課せられる社会的責任、職務上の責務を理解する。					◎	○	○	◎	○	
4.	教師の専門性と多様な専門職との連携について理解し、考察する。					◎	○	○	◎	○	
5.	教職に就くとはどのようなことか考察する。					◎	○	○	◎	○	
授業方法						成績評価の方法と割合					
講義形式だが、各自・各グループによる演習を主に考えている。1年生との共同学習の場も設ける。2年生として、学び、学んだことを1年に伝える機会とする。						提出物（40%） 定期試験（60%）					
課題等への対応						授業外学修時間					
オフィスアワー等で質問する機会を設ける。また演習中においては各自・各グループの進捗状況を把握しながら助言する。						週あたり90分					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	教師・保育者とはどのような存在か					1年生からの講義を復習しておく					
第2回	職業を考える					職人の事例から学ぶ					
第3回	実践から学ぶ					保育者の事例から学ぶ					
第4回	地域の子育て環境					駄菓子屋の役割					
第5回	地域と関わる仕事					ソーシャルワーカーの仕事から学ぶ					
第6回	日本の子育て環境を知る 子ども子育て支援制度					新制度で待機児童はどうなるかを理解する					
第7回	日本の子育て環境を知る 規制緩和を考える					子ども・親・保育者が大切にしたいことを考える					
第8回	日本の子育て環境を知る 待機児童の解消					解消されない理由を理解する					
第9回	日本の子育て環境を知る 保育所保育指針					改訂内容を考える					
第10回	日本の子育て環境					諸問題の関連を理解する					
第11回	成長する保育者と同僚性					同僚性の重要性を考える					
第12回	1年生との合同学習 理想の教師・保育者像について考える					保育者とは何か各自でグループで議論する準備					
第13回	1年生との合同学習 理想の教師・保育者像について議論する					保育者とは何か各自でグループで議論する					
第14回	保育者とは					保育者とは何か、各自で現時点での答えを示す					
第15回	日本の子育て環境を考える					講義全体を振り返ること					
試験	定期試験を実施しない										
教科書	なし					受講生へのメッセージ  各自の理想とする・目指す教師・保育者はどのような存在か、授業を受ける前（実習後）から授業を受けながら、考える機会を自分で設けてください。授業は日頃のみなさんが考えていることを披露し、意見交換をする場になりたいと思います。					
参考書等	『幼稚園教育要領』、『保育所保育指針』、『認定こども園教育保育要領』										